

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	青少年問題協議会運営事業			
予算科目	10 款 5 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとつづくり～ 生涯学習の推進			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	734
記入者情報	所属長:	武智 亨	担当責任者:	武田 秀雄
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	青少年問題協議会委員			
根拠法令等	伊予市青少年問題協議会設置条例			
事業の目的	青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的な調整を図る。			
事業の内容	青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	昨年度開催実績なし。			
改善策の 具体的 取り組み	改善なし。			

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	0	114	0	0
	人件費	399	406	0	406
	合計	0	520	0	406
人件費 内訳	人工数	0.05	0.05	0.00	0.05
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	399	406	0	406
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	399	520	0	406

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
青少年問題協議会	開催回数	0	0	0	0

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	114	114	114	114	114	570

成果指標				
成果指標	活動指標の開催回数			
指標設定の考え方	青少年問題検討に関する重要な審議案件が発生した場合に、協議会招集実施。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	事件発生時においては対応が問題視されるため、慎重に行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	昨年度は、本協議会にかかる案件は発生していないが、青少年の指導・育成・保護・矯正のため、情報交換や共通認識を図っていくことが重要であると考えます。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	この協議会は、開催されることがないため、事務事業として個別に評価する必要はないと思われるので、次年度の予算編成の際、他の関連事業に組み入れることを検討すること。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。